

## 透明性のすすめ:新興市場国の統計データ公表範囲が拡大

[サンギュプ・チョイ](#)、[ステファニー・メディナ・カス](#)

2017年7月7日



活気あふれるメキシコシティの街角：新興市場国は経済データの透明性を高めることで借り入れコストを引き下げることができる（写真：エドガルド・ガリドー/ロイター/ニューズコム）

その昔、ルイス・ブランダイス米最高裁判所判事がおっしゃったように、もし日光が最高の消毒剤になるのなら、日光はお金も作り出せるのではないのでしょうか。我々は経済データに日光を当てる、つまり透明性を高めることによって新興市場国が受ける財政的な恩恵を数量化することに挑みました。

[この新研究は](#) 統計データの透明性を高めることによって新興市場国の国債のспредが1年で15%縮小したことを明らかにしました。

これらの国々は国際通貨基金（IMF）の [「特別データ公表基準」](#) を統計データ作成に採用し、それを政府のウェブサイト上に公表しました。

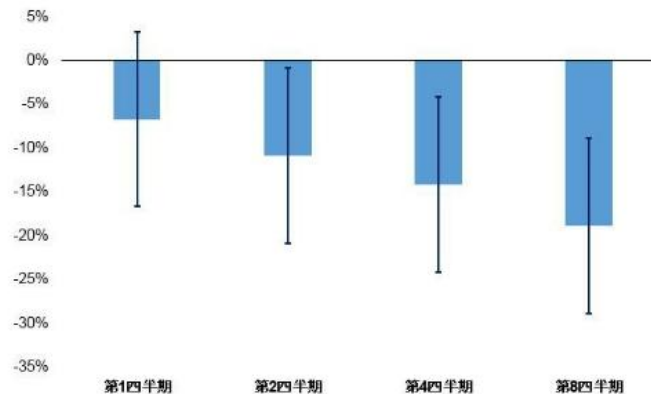
## データの透明性向上は借り入れコストを引き下げる

このデータ透明性改革を実施した 26 カ国の取り組みの結果から、各国の国債の米国債とのスプレッドに統計的に有意な変化が認められました。国債利回りのスプレッドは、投資先としてのその国のリスク度の物差しとして利用されています。

以下のチャートは、われわれの調査が明らかにした主要な数値を示しています。経過時間のベースラインとした 1 年間に国債利回りのスプレッドが 15% 縮小しました。その上、時間がさらに経過するとともにその縮小の幅が拡大していったのです。われわれはその間に景気の改善といった透明性改革以外の要素がスプレッド縮小に影響を与えたかどうかも試算しました。

### 透明性とコスト低下

経済データの透明性向上で新興市場国は資本調達コストを迅速に引き下げることができる。またその恩恵は時とともに拡大する



出典：サンギョブ・チョイ、ハシモト・ユウコ、「データ透明性向上改革による新興市場国の債券スプレッドへの影響」（2017年）



われわれは、他の要素の影響を受けないように、統計データ改革の前後の 1~8 四半期という比較的短い期間に絞って調査を行いました。次に、改革の直前に景気の改善の兆しがなかったことを確認しました。第 3 に、経済的な危機や IMF からの融資、インフレ目標など他の要素が影響していないことも確認しました。第 4 に、対外債務の対 GDP 比のようなスプレッドに影響を与えかねない他の経済要素を調整しました。それでも統計データの透明性向上が政府の借り入れコストに大きな影響を与えたというわれわれの結論に変わりはありませんでした。

## 走り出す前に助走しよう

われわれの研究結果は、「特別データ公表基準」の導入による効果を示しましたが、同時に、この基準よりは要件の緩い「拡大一般データ公表システム」のような改革を導入することの恩恵も明らかにしました。2017年6月現在、データ公開基準向上にむけたIMFの各種のイニシアティブが146カ国で導入されています。2015年後半以降、そのうち20カ国が「[拡大一般データ公表基準](#)」を導入しました。これは、統計を取りまとめる力が十分でない国々にIMFとの政策対話で使われたデータの公表を促すものです。この取り組みは多くのアフリカ諸国で利用されており、今後、この波がアジア太平洋諸国へも広がると見込まれます。

- アフリカでは、ナイジェリア、セネガル、シエラレオネ、タンザニアなど13カ国が拡大一般データ公表基準を導入しました。カメルーン、ガーナ、ケニア、モザンビークも今年、導入する計画になっています。
- アジア太平洋ではブータン、ネパール、サモアが実施しました。ミクロネシア、今年7月末に実施、バングラデシュ、カンボジア、モルディブ、モンゴル、ミャンマーも実施を予定しています。

こうした国々は、実質GDPや消費者物価指数(CPI)などの主要統計データを、ウェブサイト上の国別データ概要ページに掲載し始めました。政策担当者や投資家、格付け会社、一般国民がその国の経済状況を知るための情報へのアクセス向上が目的です。

また、規律を守ってデータを発表し、公表日が不明確なことによる投資家の不安を軽減するため公表予定カレンダーも発表する計画です。

当初の経験は「拡大一般データ公表基準」を導入することが、データ公表に関わる各国の中央銀行や財務省、統計局の間の連携が向上することを示唆しています。これはガバナンスの向上にも寄与します。

「拡大一般データ公表基準」を採用した国々は、これを、先進国が採用しており借入れコストの低下に役立つ「特別データ公表基準」を将来的に導入するためのステップとみています。

信頼できる統計データの公表を通じて実現される透明性は、政策担当者や一般国民が政策をより良いものにし、経済の足腰を丈夫にすることにつながります。

\*\*\*\*\*



**サンギョプ・チョイ (Sangyup Choi)** IMF 中東中央アジア局の地域研究課のエコノミスト。それ以前は IMF 調査局のインターンを経て IMF 統計局に所属。これまで不確実性がもたらす資本市場の不完全性や変動についてや、不確実性の国際的な影響、特に新興市場国への影響を主に研究してきた。ソウルの延世大学卒業後、UCLA で経済学の博士号を取得。



**ステファニー・メディナ・カス (Stephanie Medina Cas)** IMF 統計局のシニアエコノミスト。それ以前は、IMF の西半球、アフリカ、国際資本市場局に所属。また欧州委員会やフィッチ・レーティングス、スタンダード&プアーズにも籍を置いていた。破綻銀行の清算、金融政策、財政政策などが専門。